

安全安心ぬまづの水

泉水源地



第85回



沼津市における水道の歴史は比較的浅く、市営水道として発足したのは戦後です。それ以前は、市内全域の豊富な地下水を飲料水として利用できる自然環境にあったため、各地域で小規模な水道組合が運営されていました。しかし、昭和20年の戦災により、ほとんどの施設が損壊したため、市が施設整備を進め、昭和25年に泉水源地からの給水が開始されました。これが現在の沼津市上水道の出発点です。

その拠点施設である泉水源地は、東洋一の湧水量を誇る、柿田川のすぐ隣に位置しています。敷地内には湧水池及び7本の深井戸があり、総湧水量は1日13万トンに及びます。市内の給水区域は、北は金岡から南は三津付近までと広範囲にわたり、市全体の給水量の60%、概ね15万人に給水しています。

また、柿田川は、全長約1.2kmと日本で最も短い一級河川で、川の中に湧き出る湧水群を水源にしています。その湧水群の源は、富士山に降った雨や雪解け水といわれています。水温は1年を通して15度前後で安定しているため、多くの魚や水生生物をはじめ、周辺の森には種々の鳥類が生息し、中でもカワセミや清流で日当たりのよいところにはしか育たない水草のミシマバイカモが有名です。このように、たいへん美しい川であるため、昭和60年には柿田川湧水群として名水百選に選定されています。

ぬまづの水は、世界遺産富士山の恵みである豊富な地下水を、自然水に近い状態で市民のみなさんにお届けできることから、美味しいということに加え、全国トップクラスの安さとなっています。これからも、このぬまづの宝を大切に次世代に引き継いでいきます。

☎ 水道総務課

☎ 055・934・4862

◆新型コロナウイルス感染症について、相談・受診の目安が改訂されましたので、最新情報をお知らせします

- ①息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
 - ②発熱や咳などの比較的軽い風邪のような症状がある場合（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患がある等重症化しやすい人や妊婦）
 - ③上記以外の人で、比較的軽い風邪の症状が続く場合
- ①～③に該当する人は、静岡県帰国者・接触者相談センターへ
- ☎050-5371-0561、050-5371-0562(平日8時30分から17時15分)
- ☎050-5371-0561(上記以外の時間、土・日曜日、祝・休日を含む)